

(様式2)

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
026	川崎市立古川小学校	田中 仁浩

学校教育目標	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ○明るく元気な子(自立) ○思いやりのある子(共生) ○考えて行動する子(創造) 	<ul style="list-style-type: none"> *安全で安心な学校づくり *楽しい学校づくり *主体的・対話的で深い学び *地域とともにある学校づくり *子どもが主体の学校づくり *わかる授業・楽しい授業づくり

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 安全で安心な学校づくり	【大切な命を守る】 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な想定防災訓練の計画 ・個人情報に関する教職員の意識の向上 ・様々な想定防災訓練の計画 ・個人情報に関する教職員の意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間の発災、異臭発生など、様々な想定防災訓練を計画し実践した。 ・想定幅をさらに広げたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃時間の発災や津波到達予報などの想定も加えられないか検討する。
2 地域とともにある学校づくり	【コミュニティ・スクールの準備をしよう】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育推進会議から学校運営協議会への移行 ・学習活動・クラブ活動等における地域人材の活用 ・学校教育目標の「赤い槍をもったカンガルー」を地域と共有した連携・協働 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校の読み聞かせや1年生の昔あそびにおいて地域の方のお力を得た。 ・4年生が総合的な学習の時間「enjoy古川」の中で、近隣の幼稚園・保育園児を招待した。 ・さらに連携・協働の幅を広げたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動にボランティアを募る。 ・年間指導計画への位置づけを検討する。 ・学校運営協議会での検討や情報共有を充実させる。
3 楽しい学校づくり	【自分もまわりの人も大切にしよう】 <ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情を高める支援 ・考えて行動できる子の育成 ・様々なニーズのある子を差別せず思いやりをもって接することができる子の育成 ・コーディネーターやカウンセラーとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもち、学級で協力し、学校をよりよくしているとする雰囲気が高まっている。 ・様々なニーズのある子どもたちに対し、全教職員で対応する体制が定着してきているが、ますます複雑化・多様化するニーズに追いつき切れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに認め合える集団スキルの向上のためにも、まず一人一人の能力の発揮の仕方、コミュニケーション能力の高め方を伝えていく。 ・特に、望ましい人間関係づくりに向けた「適切な言葉遣い」について、指導を続けていく。
4 子どもが主体の学校づくり	【主体的・協働的に活動しよう】 <ul style="list-style-type: none"> ・係活動や実行委員会、学級会の充実 ・掲示板、放送等を活用した委員会の取組の発信 ・集団での活動や異学年での交流の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面式による児童会活動やクラブ発表、異学年交流などが再開し、活動の幅や機会が広がった。 ・その半面、様々な情報が入り混じり、活動が混乱気味なところもあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの活動のめあてや名称、実施時期、活動場所等について、改めて整理する。
5 主体的・対話的で深い学び	【「認め合い、学び合う子」をめざして】 <ul style="list-style-type: none"> ・身に付ける資質・能力の具体的な子どもの姿の設定 ・単元構想の工夫 ・学習活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・小教研をはじめとする各々の研究活動に加え、算数科を切り口とした校内研究において目指す子ども像や研究の方向性を共有し、実践をとおして互いに高め合うことができた。教材研究の幅をさらに広げたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を引き続き推進する。
6 わかる授業・楽しい授業づくり	【家庭と連携して学習の定着をめざそう】 <ul style="list-style-type: none"> ・共通理解を図りながら進める家庭との連携・協働 ・GIGAスクール構想をはじめとする教育活動のデジタルトランスフォーメーションへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業が充実し、学びの共有や深化が図られている。 ・GIGA端末の持ち帰りに向けた取組が、十分に推進できなかった。 ・情報モラルの醸成が十分と言えず、トラブルも発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業のさらなる充実を図る。 ・操作技能や利用する際のマナーやエチケット等についての指導を継続する。 ・持ち帰りによるGIGA端末のさらなる有効活用を進める。

学校関係者の評価	今年度の学校運営のまとめ・次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや学校報告会で、もっと学校のことをプラスもマイナスも交えて発信してほしい。何をしたいのか、そのために何をしているのかが、十分に伝わってこない。また、学校評価アンケートのとり方についても、再考の余地があると思う。 ・笑顔の連鎖が生まれていると感じる。先生たちの一生懸命さが、子どもたちや保護者の頑張りにつながっていると思う。教員のメンタルヘルスも大切にしてほしい。 ・子どもの主体性を育む教育がなされていると思うが、もっと子どもに任せてできるはずである。特別活動を中心に、さらに推進してほしい。 ・登下校の安全確保に向けた取組も奏功し、大きな事故が起こらずに済んでホッとしている。安全確保ならびに健康安全、体力向上に関する取組も、引き続き大切にしていきたい。 ・GIGA端末の有効活用は確実に進んでいる。PTAとしても、引き続き協力していきたい。 ・校風は放課後の子どもたちの様子にも現れる。友達と元気に過ごしている子、親子そろっている子は安心できるが、家で独りで過ごしている子は心配である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員や地域、保護者との対話を重ね、これまでの実績や伝統も踏まえつつ、現在の社会情勢や子どもたちを取り巻く環境を鑑み、持続可能な学校運営の構想・構築に努めた。すべての教育活動を学校教育目標(明るく元気な子 思いやりのある子 考えて行動する子)に照らし、それぞれの目的や意義を共有しながら取り組むようにした。創立75周年を機に学校や地域の歴史等を調べ、分かったことや思ったことを朝会の話や学校だより等をおして発信したことは、学校や地域への愛着が深まるきっかけの一つとなった。学校運営協議会の設置や放課後校庭開放の本格実施に向けては、無理のない形でスタートできるよう準備ができた。 ・引き続き、学校教育目標の実現に向けた教育活動を、創意工夫しながら実践していきたい。また、コミュニティ・スクールとして、より地域とともにある学校づくりを進めるため、学校運営協議会委員との情報共有を密にするとともに、塚越中学校区(1中3小)の連携・協働を継続・発展させていきたい。